

陳情番号	陳情第10号	受理日	令和3年6月25日
件名	済生会兵庫県病院と三田市民病院との再編統合に関する陳情		
陳情者	住所	西宮市北六甲台	
	氏名(団体名)	戸田 直志	

(陳情趣旨)

西宮北部地域の医療提供体制は、南部と比べて医療機関の数が少なく、特に病院については近接する他市の病院に頼ること以外には維持されないという現状があります。また、救急医療や西宮市が実施するがん検診等における受診機会についてなど、いくつかの解決すべき課題を抱えています。

そういうなかで、済生会兵庫県病院の廃止を含んだ病院の統廃合が懸念される動きが報道され、私たち住民が知ることとなりました。もし、済生会兵庫県病院が廃止または縮小ということになれば、西宮北部地域住民にとっての医療環境に大きな影響を受け、この統廃合問題は、場合によっては、西宮北部地域において多数の医療難民を生じさせかねない問題をはらんでいます。

済生会兵庫県病院と三田市民病院との連携にかかわる協議は、2017年(平成29年)3月、三田市において「三田市民病院改革プラン」が策定され、そのなかで「病院経営の合理化や組織体制見直しの実現に向けた統合再編に関する検討が必要」との考えが示され、この「プラン」策定を受けた形で、2019年(令和元年)に、神戸市と三田市、済生会兵庫県病院を交えた三者による「北神・三田急性期医療連携会議」が設置され、その第1回目の会議がその年の11月に開かれ、以後、4回会議は開催されました。直近の2020年(令和2年)12月に開かれた第4回の「連携会議」において、済生会兵庫県病院からの現状報告があり、それを受け、あらためて、済生会兵庫県病院、三田市、神戸市の三者が協議を行い、その結果、「北神・三田地域の急性期医療の確保に関する検討委員会」が設置されることになりました。

この「検討委員会」は「北神・三田地域の将来的な医療需要及び医療提供体制や、現状の課題等を踏まえ、済生会兵庫県病院と三田市民病院との再編統合も視野に入れ、当該地域の急性期医療を将来にわたって確保するための方策を検討する」ことを目的に設置されています。再編統合へとこの問題が大きく動くこととなります。

第一回の「検討委員会」の資料では、済生会兵庫県病院を利用する西宮市民は、入院患者で約15%、外来患者で約14%となっています。済生会兵庫県病院の統廃合問題は、西宮北部地域の住民にとって、たいへん重要な問題です。

ところが、この間の「連携会議」や「検討委員会」での協議は、西宮北部地域の住民は一切かかわることができないまま進んでいます。西宮北部地域住民が、この問題の当事者として参画できるようにすることを強く要望するものです。

(陳情事項)

- 1、済生会兵庫県病院と三田市民病院は、西宮北部地域住民にとって大変重要な存在です。したがって、西宮市としても、再編統合も視野に入れた検討を行うとした「北神・三田地域の急性期医療の確保に関する検討委員会」の行方について、もれなくその情報を把握するとともに、その情報を適宜住民に周知してください。
- 2、「北神・三田地域の急性期医療の確保に関する検討委員会」には、三田市と神戸市の自治会の代表がその委員として名を連ねていますが、西宮北部の自治会代表が参加していません。西宮北部地域住民の声が反映されるよう、西宮市として、住民の意見や要望を把握し、関係機関にその声を伝えるよう努力してください。